

チャペル週報

わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。
神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、
神もその人の内にとどまってくださいます。
(ヨハネの手紙一 4:16)



2006 5 8 ~ 5.12 No.4
関西学院宗教センター

チャペル・スケジュール

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

5月8日(月) 神 Kari-Heinz Schell (ヘッセン・ナッサウ州教会牧師)
経 春の音楽チャペル ゴスペルクワイア

5月9日(火) 院 嶋 村 誠 (商学部助教授)
神 文 禎 顥 (D1)
文 田 淵 結 (宗教主事)
社 キリスト教とわたし 室田保夫 (社会学部教授)
法 巡回チャペル ゴスペルクワイア
経 経済と人間 松枝法道 (経済学部助教授)
商 歌うチャペル(2)
総 中 條 道 雄 (総合政策学部教授)

5月10日(水) 神 島 並 千 恵 (M2)
社 キリスト教とわたし 打樋啓史 (宗教主事)
法 Christian M. Hermansen (宣教師)
経 経済と人間 豊原法彦 (経済学部教授)
商 辻 学 (宗教主事)
理 「先輩からのメッセージ」中條道雄 (総合政策学部教授)
総 Joseph DeChicchis (総合政策学部教授)

5月11日(木) 神 トーンチャイム隊による音楽礼拝
文 田 淵 結 (宗教主事)
法 巡回チャペル ゴスペルクワイア
経 経済と人間 林 宜嗣 (経済学部教授)
商 English Chapel Richard Stinson (宣教師)
総 Paul Hays (総合政策学部教授)

5月12日(金) 神 神 田 健 次 (神学部教授)
文 宮 田 洋 (名誉教授)
社 音楽チャペル: ゴスペルクワイアPOV
経 経済と人間 利光 強 (経済学部教授)
商 聖歌隊による音楽チャペル
理 「ある学生の話」松木真一 (宗教主事)

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20~8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
5月12日(金) 経済学部のために 井 口 泰
総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40~ 於 宗 教 主 事 室

エルサレムの思い出 シャローム

鮎 川 潤

ゲッセマネの園、ヴィア・ドロローサ、聖降誕教会 頭から離れない光景がある。20年以上前にイスラエルを訪ねたときのものだ。時の流れのなかで記憶が変形を受けているままに綴ってみよう。

初めて海外の学会で発表するためにエルサレムに降り立った。大会はキブツの一つで行われた。イスラエルの社会と文化を理解する機会を提供しようという主催者の計らいであった。当時、わが国の社会科学の分野において、キブツは私有制度や親子関係を超克するコミュニケーションの一種として紹介されていた。しかし、実際に訪ねてみると、それはイスラエル人のアラブ地域への「屯田兵」であり、いわば民間の要塞であった。マスメディアや授業で聞いていたのとは異なっており、現地を訪ねて自分で確かめることの必要性という人生訓を与えてくれた。

イエス・キリストが孤独のうちに悲嘆にかられて祈ったといわれるゲッセマネの園は不思議な静謐感を保っていた。イエスが十字架をかついで歩いたとされる「ヴィア・ドロローサ（悲しみの道）」は、汗と油とよどみながらもほこり立った空気が流れていた。

ムハンマドがそこから昇天していったとされる「岩のドーム寺院」の一角の裏は、イスラエル人にとってまさに聖地である「嘆きの壁」であった。そこではラビの若い修道者たちが旧約聖書を暗唱していた。ベツレヘムの聖降誕教会では、イエス・キリストが生まれたとされる場所の中央に穴が開けられ、周囲の床が星の形で飾られており、ユーモラスな雰囲気さえ持っていた。

街は独特の衣装をまとったギリシア正教の女性信者の巡礼で満ち溢れていた。日本ではほとんど分からないギリシア正教の世界的な影響力を感じた。学会発表後、過ぎ越しの祭りとイースターを目前にしながらも、新学期のために帰国の途についた。

現在、イースターにどのくらいのキリスト教徒の巡礼が訪れているのだろうか。ゲッセマネの園のなぞを解きに再訪したいという願いを私はいつかなえることができるのだろうか。

シャローム 平和の訪れんことを。

(法学部教授)

第168回ランバス演奏会

マーク・アンダーソン パイプオルガンコンサート

と き：5月16日(火)午後5時開演(4時半開場)

ところ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

<入場無料>

Mark Andersonプロフィール

教会音楽のために創設された米国プリンストンのウェストミンスター・クワイア・カレッジを優秀な成績で卒業した「音楽聖職者」。イーストマン音楽学校で修士の学位を得、さらにインディアナ大学で指揮法とハープシコードの博士課程を修了した。現在フィラデルフィア市郊外チェスナットヒル長老教会のオルガニストならびに聖歌隊・ハンドベルクワイア指揮者。更に最近は同教会を拠点に新たにスタートしたペンシルバニア・ガール・クワイアの指揮者も務める。

ランバスチャペルヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂では、5月に入りますと学生音楽団体による恒例のチャペルヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ足を運んでみてください。

5月15日(月)関西学院大学交響楽団(弦楽アンサンブル)

5月16日(火)関西学院グリークラブ

5月18日(木)関西学院大学混声合唱団エゴラド

5月22日(月)関西学院大学交響楽団(管楽アンサンブル)

5月25日(木)関西学院大学応援団総部吹奏楽部

6月12日(月)関西学院大学ゴスペルクワイア "Power Of Voice"

6月13日(火)関西学院バロックアンサンブル

6月15日(木)関西学院聖歌隊

いずれも12時50分から13時20分までランバス記念礼拝堂にて

CD、DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までどうぞお越しください。

使用済み切手収集にご協力ください

本学では、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。記念切手、外国切手だけでなく、通常切手も対象としています。吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。